

茨城県日立市の総合事業について

計画事業

現況及び課題

- 市内の民間バス路線は、利用者の大幅な減少に伴い、運行収入が減少し、今後、路線の廃止・縮小・減便やそれに伴いサービスの質の低下となり、更なる公共交通不存在地区・不便地区の拡大が懸念される。
- また、市内北西部の山間部においては、高齢化とともに過疎化が進み、地域内の非運転者や児童などの移動手段の確保が必要となっている。

活性化の目標・方向性

- 「市民との協働体制による公共交通確保」、「公共交通利用促進・利便性向上策による公共交通活性化」を通し、市民の生活を支える公共交通を確保する。
- 運行に対する地域の「責任と費用の分担」を前提に、山間部における生活交通としての移動手段を確保する。

実施する事業の内容

- パートナーシップ協定方式実証運行事業（平成22年4月～平成23年3月）
 - ◆「地域」と「バス事業者」が協定を締結して既存バス路線の維持・確保及び拡充を図る実証運行
- 日立市地域公共交通実証運行事業（中里地区（平成22年4月～平成23年3月））
 - ◆地域が設立した「NPO法人」が責任と費用を分担しながら行なうデマンド方式乗合タクシーの実証運行
 - ◆本数 1日4便往復（8人乗りワゴン車2台）運賃 300円（定額・自宅を出てから自宅に戻るまで）
- 日立市地域公共交通実証運行事業（諏訪鉾山地区（平成22年4月～平成23年3月））
 - ◆上記パートナーシップを実施する地域で、不便地区をカバーする定時定路線乗合タクシーの実証運行
 - ◆本数 1日3便往復（10人乗りジャンボタクシー1台）運賃200円/1乗車

茨城県日立市 : パートナーシップ協定方式実証運行事業の実施区域



茨城県日立市 : 地域公共交通実証運行事業の実施区域（中里地区）

日立市中里地区（下深荻町、中深荻町、入四間町、東河内町）の概要

- 1 面積 約40km²
- 2 人口 1,480人（うち75歳以上人口 377人）
（平成22年4月1日現在 住民基本台帳人口）
- 3 世帯数 637世帯
- 4 高齢化率(65歳以上人口割合) 39.1%



茨城県日立市 : 地域公共交通実証運行事業の実施区域 (諏訪鉱山地区)

